


学 年

2年

【確 率】② 起こり得る場合の数 A

年 組 氏名 _____

1 あなたは、ある工場で品質の検査をしています。製品を見て次の問いに答えましょう。

(1)  が、故障した電球であることを表しています。



① 製品の数は全部でいくつですか？

答え _____

② 故障のある製品はいくつですか？

答え _____


学 年

2年

【確 率】② 起こり得る場合の数 B

年 組 氏名 _____

1 あなたは、ある工場で品質の検査をしています。製品を見て次の問いに答えましょう。

(2)  が、故障した車であることを表しています。



① 製品の数は全部でいくつですか？

答え _____

② 故障のある製品はいくつですか？

答え _____

③ 故障の出る割合を分数で求めなさい。

答え _____


学 年

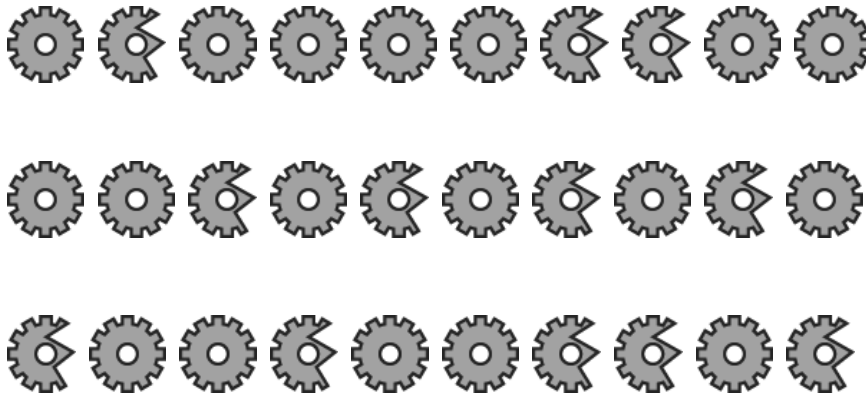
2年

【確 率】② 起こり得る場合の数 C

年 組 氏名 _____

1 あなたは、ある工場で品質の検査をしています。製品を見て次の問いに答えましょう。

(3)  が、故障した歯車であることを表しています。



① 製品の数は全部でいくつですか？

答え _____

② 故障のある製品はいくつですか？

答え _____

③ 故障の出る割合を分数で求めなさい。

答え _____

学 年

2年

【確 率】② 起こり得る場合の数 D

年 組 氏名

1 あなたは、ある工場で品質の検査をしています。製品を見て次の問いに答えましょう。

(4)  が、故障したテレビであることを表しています。



① 製品の数は全部でいくつですか？

答え _____

② 故障のある製品はいくつですか？

答え _____

③ 故障の出る割合を分数で求めなさい。

答え _____

④ (1)～(4)で故障の出る割合が一番高いものはどれですか。

答え _____

学 年

2年

【確 率】② 起こり得る場合の数A～D

年 組 氏名

〔Point〕

あることからの起こりやすさの度合いを表す数を**確率**という。

$$\text{あることからの起こる確率} = \frac{\text{そのことからの起こる場合の数}}{\text{起こりうる全ての場合の数}}$$

A (1) ① 60個 ② 15個

B (2) ① 40個 ② 8個 ③ $\frac{8}{40} = \frac{1}{5}$ C (3) ① 30個 ② 12個 ③ $\frac{12}{30} = \frac{2}{5}$ D (4) ① 30個 ② 6個 ③ $\frac{6}{30} = \frac{1}{5}$

④ (3)

【追加問題】 ④で、答えが(3)になるのはなぜかを、文章にまとめなさい。

【解答例】 (1)の確率は $\frac{1}{4}$ 、(1)～(4)のすべてを小数に直したとき、(3)が0.4で一番大きな数値を持つ。

このことから、(3)が一番故障が起こる割合が高いと判断できる。